

みぶ町政だより



12月号

昭和49年12月24日発行

発行所 栃木県壬生町役場（毎月24日発行）

昭和34年9月30日第三種郵便物認可一部 9円



子どもは風の子

暮もおししまった十二月中は、何かと心せわしい。
今年もあわだしく暮れて、いよいよ師走ともなれば、冬將軍の到来だ。
昔から、子どもは風の子。と言われ、外で元氣よく遊ぶ姿は美しい。
保育所では、子どもたちをのびのびと外で遊ばせています。
運動することによって、体も健康になり、また、風邪をひかない丈夫な体になります。

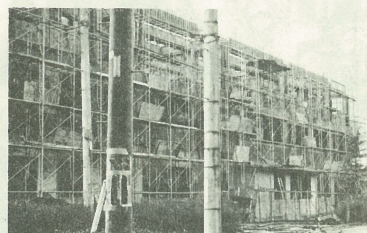
今月の人口

12月1日現在	対前月比
総人口 30,078	63人増
男 15,007	16人増
女 15,071	47人増
世帯数 7,300	51世帯増

1月は「家庭対話の月」です。（明るい家庭を造りましょう）

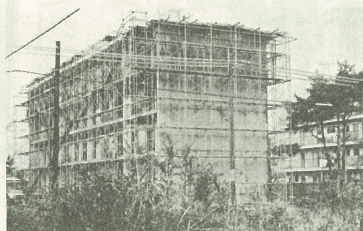


3万人目の赤ちゃん
上田雅淑ちゃん



安塚小の校舎建設進む

来年3月の完成を目指して工事が進められています。



町営住宅建設進む

昭和49年度の事業で町営住宅の建設が現在半分ほど進んでいます。来年3月には4階建ての立派なものができます。そして16世帯が同居できます。

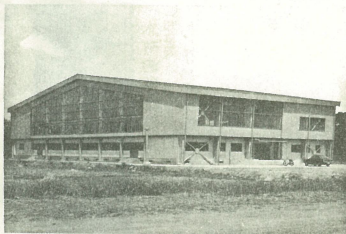
昭和四十九年もあとわずかになりました。もうすぐ新しい昭和五十年を迎えることになりました。さて、昭和四十九年をふりかえってみましょう。

昭和四十九年は、石油危機を発端とする物価高騰が激しくなりインフレと言う社会経済が続いていきます。

みなさんの家庭と同様に、町財政も非常に苦しく、経費抑制制の中で大きな事業を勢いづいて進めてきました。

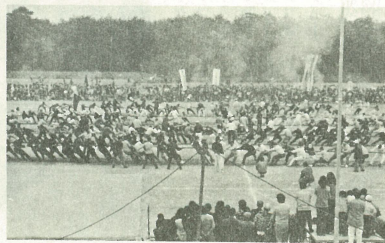
なんと言っても、三万人を突破するとう人口となり、これに対処するため設備投資にも大きな財源が要求されています。

下の写真は、昭和四十九年の主な出来事です。



町民体育館が完成

この体育館は4月に完成し、内部の設備などが完全となり、7月2日からオープンしました。



町民体育祭を開く

合併20周年と体育館建設の2つを記念して、町民体育祭が開かれたものです。観衆も大勢集まり、盛大な催しでした。

昭和49年を ふりかえって



佐藤町長が再選

5月26日に町長選挙が行われ、町民多数のご支援で再び町長に就任しました。

職員に歓迎を受け、初登庁する佐藤町長です。



独協医科大学病院が開院

7月17日に全町民が待ちに待った独協医科大学病院が開院されました。

病院内は、現代医学の粋を集めた医療設備が完備されています。



合併20周年記念式典

旧稲葉村と旧南犬飼村を合併して、今年で20年になりました。それを記念して11月20日中央公民館で式典を行いました。

昭和49年の主な出来事

- 1月○新年祝賀会、中央公民館で行う。
○成人者515人を迎え、中央公民館で祝う。
○町政懇談会三地区で開く。
- 2月○青年団駅伝大会開く。
○婦人と青年合同懇談会、中央公民館で開く。
○町と農協で、農政問題懇談会開く。
- 3月○三中学校の果立つ職業人を励ます会を行う。
○昭和49年度の予算が決まる。
○55組の縁組のまとまった、新郎新婦を祝福する会を開く。
- 4月○羽生田で1,300年前の人骨が発掘される。
○王生寺保育園が開園される。
○町民体育館が完成。
○東小学校の校舎新築が完成。
○町営住宅が完成。
- 5月○町長選挙で、佐藤町長が再選。
○町の自治功労者の6名を表彰。
○納税組合長186名を表彰。
- 6月○町議会の正副議長が改選し、植竹議長、鶴見副議長が就任。
7月○独協医科大学病院が開院。
○町民体育館がオープン。
○参議院議員選挙が行われた。
○いもち病が大発生し、経済常任委員が現地を視察。
- 8月○夏季消防点検王生小校庭で行う。
○納涼踊りの夕べ、王生小校庭で盛大に行う。
- 9月○安塚小の校舎新築と町営住宅建設の起工式を行う
○1,558人のお年よりを迎え、長寿を祝う。今年は3地区毎に行った。
○婦人団体連絡協議会が独協医大で研修会開く。
- 10月○町民歩け歩け大会を「体育の日」に行う。
○王生町の総人口は3万人を突破。
- 11月○合併20周年記念式典、中央公民館で盛大に行う。
○町民体育祭を総合運動場で盛大に開く。
○南犬飼中が北関東少年野球大会で優勝。
- 12月○消防団通常点検を王生小校庭で行う。
○栃木県知事選挙と参議院議員補欠選挙を行う。

本町では五五・五七%

栃木県知事選挙および参議院議員補欠選挙の投票は、十二月八日、本町で午前七時のサイレンとともに町内十七カ所の投票所で投票が行われました。

この日は、朝から一段と寒く、肌を切るような寒さの中で行われました。日曜日に寒いことから朝のうちに投票がにぎやかだったが、十時ごろになって有権者の出足も好調になってきました。

今回の選挙は、投票率が低いと予想され、町選挙では、四日から八日の投票日の当日まで五時間、わたって乗機防止のために、広報車が出勤してPRをしました。また、サイレンを朝七時、正午午後五時の三回にわたって鳴らす

下都賀郡内得票数										(参院補選)									
(知事選)																			
山	小	城	船	田	投票率	市町村名	矢	野	三ツ	大久	高	田	投票率	山	小	城	船	田	投票率
2,478	458	7,975	55.57	2,602	7,465	生	7,465	1,685	735	55.06	164	57.13	55.06	164	57.13	55.06	164	57.13	55.06
1,705	258	4,748	58.36	2,602	4,581	寺	4,581	1,421	387	57.74	78	57.74	57.74	78	57.74	57.74	78	57.74	57.74
1,315	254	3,087	57.65	2,602	2,785	分	2,785	1,051	313	58.36	90	58.36	58.36	90	58.36	58.36	90	58.36	58.36
975	273	2,863	46.87	2,602	2,689	水	2,689	1,051	236	59.91	87	59.91	59.91	87	59.91	59.91	87	59.91	59.91
2,627	321	4,825	55.95	2,602	4,371	平	4,371	1,453	641	55.28	92	55.28	55.28	92	55.28	55.28	92	55.28	55.28
1,340	420	5,834	56.62	2,602	5,472	同	5,472	1,453	585	56.16	128	56.16	56.16	128	56.16	56.16	128	56.16	56.16
1,348	263	4,472	53.35	2,602	4,104	舟	4,104	1,428	459	52.90	77	52.90	52.90	77	52.90	52.90	77	52.90	52.90
896	127	3,278	51.47	2,602	3,096	賀	3,096	883	288	50.91	52	50.91	50.91	52	50.91	50.91	52	50.91	50.91
12,684	2,374	37,032	54.86	2,602	34,563	下都賀郡計													

本町の開票結果
知事選
七九七五票 船田ゆずる
二四七八票 ひやま郎
四四八票 こはな定一
参院選
七四六五票 矢野 登
二六六五票 三ツ屋政夫
七三五票 大阿久照代
一六四票 高田 かん

と乗機防止つとめましたが、本町では五五・五七パーセントに終わった。

今日の有権者数(知事選)は、一九九二一人で、これに対して投票者数は、二〇八七人、乗機者は八八六八人、投票率は前回の昭和四十六年一月十一日に比べ、一〇・五パーセント低かった。

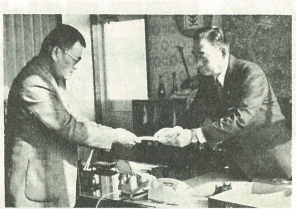
開票は、即日開票午後七時二十分から中央公民館で行われ、選挙長はじめ、立会人および開票事務従事者約百名が開票に従事し、知事選は九時四十分、参院選は十時十分とそれぞれ終了しました。

増山さん
二十万円寄附
増山貴夫さんは、十二月五日に役場の町長室を訪れ、金二十万円を町に寄附されました。

この方は、去る七月七日に故人となられた増山喜博氏、町議会議

各投票所の状況 (県知事選)			
投票所	有権者数	投票率	
中央公民館	3,805人	61.84%	
民生寺	1,590	55.35	
旭町公民館	912	54.82	
藤井小学校	793	61.16	
東平小学校	3,129	51.55	
原坪公民館	734	58.72	
稲葉地区公民館	966	49.69	
七ッ石公民館	513	54.78	
羽生田小学校	893	42.44	
狸沼公民館	684	43.71	
北林公民館	507	60.36	
安塚小学校	1,952	55.74	
水道北部配水場	676	60.95	
不動公民館	552	61.59	
助谷公民館	393	61.07	
中泉公民館	437	56.06	
玩具協同組合研修所	1,415	53.29	
計	19,951	55.57	

貝の長男で、このお金は、故人の意志より寄附されたもので、このお金は、昭和四十二年に作られた「佐藤幾学基金制度」の基金として、寄附され、学問に打ち込んで進学する学生などに大いに利用されることを望んでおります。



戸締りは完全に 防犯診断から



警察署では、暮おしせまった十二月十二日、午後九時から壬生町管内の真鍮、金社、倉庫、一般住宅などの商業防犯診断を一斉に実施しました。

この防犯診断は、年末をひかえ盗難事件があらわら発生しており、また、火災期にそなえて、火災予防を併せて実施したのも。

これは、警察署はじめ消防団そして役場から町長ほか助成など計十三名の協力で管内二班に分け、それぞれ診断が行われました。

その結果、大半が戸締りが不十分

金であり、錠のかけ忘れが多い。特に一般家庭の戸締り不完全が半数近くあった。

また、道路に駐車している自動車は、やはり大半がドアの錠のかけ忘れや、ひどいものは、キーまでつけてあったものもありました。

署ともなると、たかく盗難事件が多くなります。

みなさんとも十分注意しましょう

貯金通帳の 盗難にご用心

郵便貯金通帳が盗まれて、預金者の知らない間に貯金がいもどとされた事件は、今年上半年に全国で二一四件、被害額は、億二千三百万円に達しています。

県内では二件、二百八十万円ほどになっています。

郵政省では、お客様の貯金を守るため、盗難通報に対しては郵便局へ払い渡す厳戒に当り、郵便監督官が犯人の検挙に当たっています。

病気のいろいろ その四

独協医科大学病院 中央臨床検査科教授 山田律蘭

独協医科大学病院は、栃木街道にそって、東武宇都宮線のおもむきやまの駅近くに、その白い大きな建物が見え、目立っており、駅の周辺は、続々と新築の邸宅ができて、おもむきのまき駅から、附近の住宅の中に大学病院が、けこんできたことに、あたかも象徴してきているに思えます。

昔は、お医者さんと患者は切っても切れない仲でした。

今では、診断にはいろいろな検査をするようになり、その検査も複雑なようになっており、検査も患者さんの血液や尿が検査に用いられると、その検体についていかに早く検査項目が調べられ、結果がわかるかが、重要なポイントです。

たとえ、お酒を飲まなくても血液の肝に開閉した酵素が増加

スキー教室

いよいよ来しスキーシーズンがきました。

ふりつて参加ください。

一月二十五、二十六日 猪苗代スキー場

Ｂコース 二月十一、十二、十三日 藤元スキー場

Ｃコース 三月十六日(日曜日) 日光湯元スキー場

詳しくは、町教育委員会内務係事務局へおたずねください。

工業統計調査にご協力

昭和四十九年の工業統計調査が十二月三十日現在で全一斉に行われました。

この調査の結果は、わが国における工業の基礎となる行政や経済活動の基礎となっており、地域経済の発展、特に工業の振興のための資料として大きな役割を果しています。

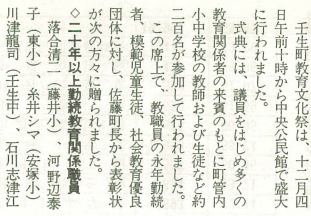
調査の実態にあつては、知事が任命した工業統計調査員が可

長指揮監督のもとに、各事業所を訪問して、各事業所において、年末の忙しい時期であるが、何となく協力いただきをお願いしています。

また、調査員がお伺いしたさい、ありのまゝ申告してください、なお、くわしくは、役場企画課工業統計係におたずねください。

「家庭の日」には家庭そろって何かをしよう。

毎月第3日曜日は家庭の日です

[illegible]

・田中實城、吉田、川村和美
・川田順作、大塚仁、小川利明
・富田哲弘、島田信夫、野沢真
・栃木県立作品展、金賞
・栃木県小、中、高作品展、金賞
・松本明、小藤原道子、大田明美
・毎日新聞社、文芸（特選）
・福田、豊（王中）
・明仁天皇啓略号ボクスター（文部
自民大賞）
・落合、洋子（福来中）
・下野教育美術展（特選）
・田村、浩子（南大附中）
・栃木県高校体育連盟（最優秀選
手賞）
・栃木、高山道夫、南大附中
・同（優秀監督賞）
・田中靖正、南大附中
・郵政省主催国民書簡展（関東
郵政局賞）
・植野享子（南大附中）
・社会教育文化賞（文藝文助
・王中、野村花子（高松文助
・羽生小松雄、T・H・加正正美
・羽生小松雄、T・H・加正正美
・おもしろ町子会賞、社会共
・馬場、原部淑彦、民館
・上田輝、長男
・上田輝、金、上田静江
・七石青生団、大出、章
・個人（陸上優秀賞）
・高岩、正

「公給領収証」

年々から年始にかけて、料理店や飲食店等を利用される方が多いと思いますが、県では十二月十五日から一月十五日までの間、みなさんの協力をいっただいて「公給領収証」をいまして運動を実施しております。

料理店・バー・キャバレー
旅館の宿泊
飲食店等

あ
二
一
ハ



踊りを披露する若妻会の人たち

四葉次郎重吉）では、十一月十二日夜、クラブ員約十人が集つて、同所部活動公民館で懇談会が行われた。

この懇談会は、今年一年間に公にされた民館の庭、桜の木、植たり、神社境内の清掃奉仕したり、また、夏ににがやばの駆除をされた上に、たてに反対して、自分たちをつたひにこれに環境整備をややうにこころで、自分たちでござらおうと催されたもので、これは、地元の若き者の大なちが、これには踊りなををを披露し、夜おそまでにぎやかに楽しまれた。

ともなひましよう

公衆衛生課証は、みなさんに料金といふしよに支つた料理料食等消費費が正し納められたことを証明するものすから、心すお取願ひください。

なお、免税店下のときは、発行さしません。

税込	税点	基礎控除	税率
ありません	ありません	10%	
〇〇〇円	一、五〇〇円		
ありません	ありません		
"	"		

四Hクラブで収穫祭ひらく



農作物の収穫に感謝する収穫祭が、去十月二十四日、憩いの家で行われました。

この行事は、市立野守少年クラブ協議会、会長長瀬正幸の主催によるもので、各自が丁寧に作った白菜、人参、こぼろ、きゅう、つぼ、白菜、などの野菜を多数出品して、同品目場の広場で野菜、即売会を行いました。

九時十分からは売りはじめてから、種類によつては、僅十分位で品切れとなる、ものも多かった。また、なかから、もつと欲しかったと声が高かった。

当り方は、初めての試みなので、心配しておりますが、結果は好んだので、できればこれからも同じような計画を持ちたい。

たがらびと音頭、の中間発表
会が、同くラブ員により開かれま
した。

には、町長はじめ、細井井
議、町議会議員、農協部長、柳
木農政課長、大田清八、森の
らびび、音頭、保所、の川会長
ら大が参加して、保所の人た
たがはがやしにせて、ゆかに
赤タナキのクラ員が踊り、近所
の子供といでて参加する
てお集い一日でした。

保所所へ贈り物

○銀紙賞券
○紙賞券
○ビニール賞券
○手拭
○うた
○十三夜
○奄

大田清八殿
安住恒夫殿
奄

母子健康センター

母健康と心身ともに健康な次世代の国民の出生と育成を扇とした施設であり、母子保健の基盤は家庭の幸福と社会の健全な成長を支えるものとする。民族の繁栄、社会主義的発展とともに密接に関連もつて重要な問題である。

したがって、本町では、これらの理念に基づき、母子衛生の向上と増進を図るため、助産一、妊産婦の保健指導

三、家族計画指導
四、助産に関することとです。
次に、母子健康センターの利用者は、昭和四十一年度は、一、二七名でした。
利用したい方は、申込書、世帯調査票、医師の診断書を添えて、母子健康センターまたは役場民生課に申込んでください。
利用料金は、二八、〇〇〇円程度です。
ふつてご利用ください。

「公給領収証」をもらいましょう



年々少くは利用されて、料亭や飲食店等に売却される方が多いと思います。果ては十二月十五日から一月十五日までの間、みなさんのご協力をいただいて「公給領収証」といいます「運動」を実施しております。

なお、免税店以下のは発行されません。

	免税点	基礎控除	税率
料理店、バー、キャバレー	ありません	10%	
旅館の宿泊	二、四〇〇円	一、五〇〇円	
飲食店等	一、二〇〇円	ありません	
"	"	"	

老人クラブで
慰安会

国谷第三部落の老人クラブ（会長次郎会長）では、十一月二十

同募金

ありがとう

『青年祭』 ひらく



壬生町青年団協議会では、発
 して五年を迎え、これを記念し
 て「青年祭」が十月一日、中央
 市民館で大勢の団員が集まつて盛
 に行われました。

これは、歴代会長はじめ、町
 丁黄金会、丁教育会など、町

この寄附金は、県共同募金にお
 いて予定されている使途計画の再
 審査が行われ、社会福祉事業振興
 のため有効に使われます。

〃別名募金 八九四二二円
 〃法人募金 三八八六〇円

急・火災は一一九番

消防壬生分署
集電話からは
〇一一九番
般問合せなどの
話(2)二〇〇番

火災シーズンを迎え — 消防点検 —

壬生町消防団の通常点検は、十二月三日午前八時から壬生小学校校庭で、大勢の来賓を迎えて行われました。

この日は、朝から寒い中を三分団（一〇三名）のほか役員職員消防隊十五名、計二十八名の団員が出席して服装の点検、機械器具の点検やポンプ操法などが行われました。放水試験は、藤井橋下で行いましたが、あいにく水量が少なく、服装点検のようす



全団が放水することができ、また、この日、名譽ある表彰を受けた方々は、次のとおりです。

消防防協会長長表彰
副団長 篠原正利
下都賀支部長表彰
第三分団分団長 中川勝明
五カ年永年勤続表彰
第一分団第一部長
篠原安明ほか二名

壬生町長表彰

退団者感謝状

火災早期発見者

島田直太郎 (上田)
上野 七喜 (安田)
田村 義美 (上長田)
小川 房治 (助谷)
玉田 実 (至善町)
大岡 フミ (上田)
須藤千代子 (下馬木)
衆川 垣三 (助谷)
清水キイチ (下馬木)

し尿汲取り料金が改正に

現在のし尿汲取り手数料は、昭和四十七年度に改正したものであり、最近における社会経済の変動、特に石油ショック以来の諸物価の上昇、人件費、バキューム車ホース消耗品等、また、機械並びに燃料等、し尿汲取り料金の高騰により近隣市町において、それらを上回るを実施している現状から、本町において次のように改正にります。

改正前	改正後(五十年)
一八〇円	一月一日から
四〇〇円	七月一日から

ただし、公共料金制度という立場から市民の負担を一八リットル六〇リットル、町費負担を二〇円とし、改正にります。

汲取り業者の業務改善
汲取りについての苦情や不満をなくすため、委託業者に対して、業務の改善を申し入れ、監督体制の強化をはかりました。

し尿汲取り料金の支払い
各家庭のし尿汲取りを業者がしたとき、し尿の量に応じてし尿汲取り券を渡す制度をとっています。

し尿汲取り券は、各町内にし尿券売所を設けておりますので、近隣の売所へ、前もって購入し、汲取りが終了したら券を戻しし尿汲取り券を返すこととされています。

町長表彰(貯水槽土地提供者)
南坂 茂 (釜方海)
田辺 正 (原坪)
染島 政蔵 (鹿島)
羽石勝郎 (六美町)
渡辺 秀男 (国谷)
西島野自治会
(代表高山 安市)

優良工場
トニー工業株式会社

酒のみ運転はやめよう

年末年始時は、忘年会、新年会などで、飲酒の機会も多く、酒のみ運転による交通事故の増加が予想されるべきです。このころになってから酒のみ運転による交通事故は、十月末までに県内で発生件数四九件、死

者二七人、傷者六〇七人をかぞえています。年末のあわただしき、年始の気のゆるみから起きる交通事故を未然に防止し、みなさんの明るい生活を確保するを自覚し、これ以上暗い悲しい記録をよまないように、県民総ぐるみによる飲酒運転追放運動を展開しましょう。みなさんとの運動に協力ください。



重点目標
今回の運動は、飲酒運転の根絶を期するため、歩行者および運転者を対象に交通安全意識の高揚に重点を置き、すべての交通事故の防止を期するために実施するものです。

期発見、早期治療が行われ少なくなりました。

し尿汲取り料金の改正に

金久保さんが

協会会長表彰

栃木県統計学会では、十月二十八日午前九時から県庁大講堂で統計関係の表彰式が行われました。

その席上で、本町から金久保保さん、協会の表彰を受けました。

金久保さんは、長年にわたって各種の統計調査としてみなさんに頼みとして、このたび表彰を受けたのです。

壬生町大生二一番地

町の文化祭

壬生町文化祭は、次の日程で開催します。
壬生町文化祭は、次の日程で開催します。
壬生町文化祭は、次の日程で開催します。

新有権者の 感想文募集

財団法人明るい選挙推進協議会では、今年度から迎える新有権者のみなさんから作文募集しております。

応募の要
最近の選挙においてあるいは「成人の日」を迎え、新有権者または社会人として地方自治や国政への参加について自分自身で経験し、もしくは考えた感想文を募集します。

募集期間
昭和五十年一月三十一日まで
提出先
栃木県選挙管理委員会 県庁内

酒を飲んだら
ハンドル
持つな

お知らせ

免許更新新時講習
一月の日程は次のとおりです。
十日(二十三日)
場所 中央公民館
時間 いずれも午前十時から

一般健康相談
成人、老人、その他の健康相談についてお気軽にお出かけください。

とき 一月二十四日
十時から三時まで
ところ 中央公民館

魔大引き取り日
いらい犬は、はなさないで魔大引き取り日に出してください。

日程 一月八日
〇日程 一月八日
〇場所 〇時間
〇場所 〇時間
〇場所 〇時間

善意銀行
十月十三日に付けたチャリティ・ウォークの資金一万円を困窮者たちにあげてください。半井工務店様取締の半井守まさんが寄託されました。

〇場所 〇時間
〇場所 〇時間
〇場所 〇時間

〇場所 〇時間
〇場所 〇時間
〇場所 〇時間

お知らせ



年末年始の役場事務は

昭和四十九年もあとわずかになつて新年を迎へることになります。

そこで年末年始の役場事務は、次のとおりです。特別の戸籍事務(死亡届、死産届)などは行つてお

ます。
◆十二月二十八日(月)納め
◆十二月二十九日(火)三日まで休ませていただきます。
◆一月四日(土)開始

年末年始のゴミ

集めの運休は

年末年始にかけて、町ではゴミ処理場の焼却、煙道の清掃、またし尿処理場の機械器具整備点検の

1月の納税
お忘れなく

町県民税 第4期分
国民年金 昭和50年の前納

ため、ゴミ処理および尿清掃作業を次のように休みますので、協力ください。

◆ゴミ運作業の休み

十二月十九日から 月五日まで

の八日間

◆尿清掃作業の休み

十二月十八日から 月五日まで

の八日間

なお、休みの間は、ゴミや危険物などを出さないようにお願いし

ます。

ゴミは燃やすが、燃やさないものは空地に埋めるように協力くだ

さい。

母子健康相談

◇とき 一月七日(火)

〃 十七日(金)

時間は、いずれも十時

当番医師のお知らせ

一月の日程、祝日は次の医師以外は、全部休診になります。

◎当番医師の住診はできません。

日	町名	医名	電	話
一	城内	陣内	(2)	0242
二	城東	前原	(2)	0141
三	安塚	佐藤	(2)	0123
四	舟町	松本	(2)	0210
五	早川	早川	(2)	0210
六	小倉	小倉	(2)	0057
七	安塚	島田	(2)	0011
八	仲通	木村	(2)	0056

時間は午前九時から午後四時

から三時まで
王地区、稲葉地区
団地の満一歳未満の
赤らんです。

◇ところ 中央公民館

三カ月児検診

◇とき 一月十六日(木)

午後一時三十分から

九月二十日から十月十

九日までに来ましたお

子さん

◇ところ 中央公民館日本間

(母子健康手帳を持参すこ

と。)

訂正

十月号の五ページ、三節目「学校へ進歩を贈る」の記事中、会長の名前が「中川淳」となつていますが「中川順」の誤りでしたのでお詫言して訂正します。



百姓と武士の生活(三)

170

雄策神社については、十月月号に登場しましたので、次に正月号に登場し、その続きを掲載します。

(一)宗門五人組改帳

今の戸籍に当たるものです。古く

律令時代には戸籍や計帳の制があ

つて、政府はこれによって、人民

の状況を知ることができ、またこ

れによって口分田を給與したり、

租税をかけたりました。朝廷

の権力が衰えるにつれて、戸籍も

計帳も次第に作られなくなり、平

安時代の半ばを過ぎると全く廃絶

してしまいました。

そして中世の無戸籍時代となり

ましたが、戦国時代の後半を過ぎ

世の中が安定の兆が現われて来

ると、再び人口状態を明らかにし

ようとする動きが現われて来まし

た。

豊臣秀吉は、天正十九年(壬生

氏滅亡の翌年)に日本六十万の

人捕を行い、一村単位に奉公人、

町人、および百姓毎に別々に家族

人数を記載した、家族人数を出

させていきますが、秀吉は次の武士

が新しく町人、百姓になること、

および在々百姓が田畑を打捨て

商売或は質仕事に出ることを禁じている。

これは、家人数帳は戸籍とは言えないが、未役徴収や身分を固定する意味を持っていた。

江戸幕府が庶民把握のために行つたものとしては、人別帳の制と人数調とがあまりす。

人別帳は、元来は宗教とは無関係であったが、後になつて宗門改帳と合体して、宗門人別改帳と呼ばれた。

寛永十四年島原の乱後、キリス

ト教禁圧は益々厳重となり宗門改帳の制が設けられた。

宗門改帳は、一村毎に作り、各家毎にその当主、家族の名前、生

年、宗門改帳等を記入し、所有の馬牛迄も記入させた。

人別帳について、幕府は國の家々の状態を知る事は出来たが、武士は含まれていないし、生れた許りの子供も記載しない。

その他帳について特定の人物を載せないから、人別帳を総計しても、当時の日本の全人口は出て来ない。

各村で作成した改帳は通國奉行代官、領主、地頭等が取調の、毎年幕府の寺社奉行所に提出させたこの貴重な史料は大字集や大字上田の名主の子孫の家に残っている。特に大字上田に残る物は天保年間から幕末に至る長期間の物、全部が保管されている。

『筆者 大垣』